

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

367号

2021年9月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

## 南北通信連絡線が復元 —南北関係の改善から朝米対話の再開へ—

### ●南北通信連絡線が1年2か月ぶりに復元

1年2か月にわたって断絶していた南北通信連絡線が7月27日に復元した。この措置を歓迎して、南北関係改善のために韓米合同軍事演習の中止を求める世論が高まったが、8月16日から26日まで韓米軍事演習は強行され、北側は批判談話を発表して南からの通信連絡に応じなくなってしまった。南北関係は再び断絶されてしまうのだろうか。

### ●「敵視政策の転換」を「対話の前提」から

#### 「対話の目標」に

北側の真意を正確に把握するために朝鮮中央通信の発表を見てみよう。「現在、全同胞は挫折と沈滞状態にある北南関係が一日も早く回復されることを切に望んでいる。これに関連して北南の首脳は、最近数回にわたってやり取りした親書を通じて、断絶している北南通信連絡ルートを復元することで、互いに信頼を回復し和解を図る大きな一歩を踏み出すことで合意した。両首脳の合意に従って北南双方は7月27日10時から、全ての北南通信連絡線を再稼動する措置を取った。通信連絡線の復元は、北南関係の改善と発展に肯定的な働きをすることになるであろう」。南北関係改善に向けた強い意志を読み取ることができる。

朝鮮労働党は昨年12月以来、韓米両国に対して「朝鮮敵視政策を転換しない限り一切対話に応じない」とくり返し言明し「朝鮮敵視政策の転換」を「対話の前提条件」としてきた。したがって今回の南北連絡通信線の復元決定は「朝鮮敵視政策の転換」を「対話の前提」から「対話の目

標」へと政策転換したと思われる。したがって、韓米合同軍事演習が終了した後、南北通信連絡線は再び復元され、南北対話が再開されるだろう。

### ●米国政府の同意を得ながら南北関係を改善

文在寅大統領は、米国政府の同意を得ながら南北関係を改善し、朝米関係の改善に結びつけようとしているようだ。5月21日にワシントンで行われた韓米首脳会談後に発表された韓米共同声明では「2018年の板門店宣言とシンガポール共

同声明など南北・朝米の約束に基づく対話が、朝鮮半島の完全な非核化に欠かせないことを再確認した」と明記され、会談後の記者会見で文在寅大統領は「バイデン大統領は南北対話と協力に対する支持も表明しました。私たちはアメリカとの緊密な協力の中で南北関係進展を促進して朝米対話と好循環を成し遂げられるように努力するでしょう」と述べている。

南北両首脳の南北関係改善に向けた強い意志からみて、今後、南北関係の改善が期待される。

南北両首脳の南北関係改善に向けた強い意志からみて、今後、南北関係の改善が期待される。

### ●南北関係の改善から朝米対話の再開へ

韓米首脳会談の共同声明に「朝鮮戦争などで生き別れになった南北離散家族の再会推進も支援する」と明記されているので、まず南北赤十字会談が再開され離散家族の再会事業が推進される可能性が高い。そして南北関係の改善を背景に朝米対話の再開が予想される。

この好機を逃さず、南北・朝米合意の履行を求める世論を高めていかなければならない。

(金五)



▲南北通信連絡線の復元を伝える韓国のテレビ

## 最近の朝鮮半島情勢を共有し、 下半期の運動に向けた決意を確認する

### 光復76周年在日韓国人関西集会

光復(解放)76周年を迎え、韓統連関西協議会の主催で「韓米合同軍事演習反対! 国家保安法廃止! 光復76周年在日韓国人関西地域集会」が8月15日(日)、PLP会館で開かれた。

集会では、金隆司(キム・ユンサ)韓統連大阪本部代表委員が主催者挨拶を通じ「私たちの祖国は解放後、米ソの分割統治によって南北が分断され、南北分断は現在も継続されている」と述べながら、「来年3月の大統領選挙は、祖国の統一を望む勢力と南北分断を維持しようとする勢力との闘いになる。必ず勝利しよう」と語った。

続いて映像資料の上映が行われた後、金昌五(キム・チャンオ)韓統連大阪本部副代表委員が「南北・朝米関係の現状と今後の課題」をテーマに講演を行った。



▲情勢講演を行う金昌五副代表委員

金副代表は、板門店宣言(2018/4)合意以降の南北関係について「板門店宣言をより具体化した9月ピョンヤン共同宣言が合意されるなど、南北関係は順調に進展してきたが、南北の和解によって駐韓米軍の存在意義がなくなることを恐れた米国が文在寅政権に圧力をかけ、その圧力に屈した文政権は南北和解より韓米同盟を優先するようになり、結果、南北共同連絡事務所の爆破など南北関係は断絶状態になった」と説明した。

続いて金副代表は、今年7月に南北通信連絡線が復元された背景について、▲南北首脳間の親書交換▲5月の韓米首脳会談合意内容などをあげながら、今後の展望として「秋夕を機に離散家族の再会事業が再開される可能性が大きい」と述べ、「私たちも文政権に、より一層の南北の和解を進

めるよう声をあげていこう」と語った。

講演後は質疑討論と尹鏞昊(ユン・ヨンホ)韓青兵庫本部委員長代行の決意表明、決議文の採択が行われ、最後に崔孝行(チェ・ヒョハ)韓統連兵庫本部代表委員が閉会挨拶を来ない、集会は終了した。

## 甲午農民戦争の意義について学ぶ

### 8・22韓統連セミナー

韓統連大阪本部主催で開催している「韓統連セミナーウリ近代史② 甲午農民戦争」が8月22日(日)、東成区民センターで開かれた。

セミナーでは、金隆司韓統連大阪本部代表委員が主催者挨拶を行った後、金昌範(キム・チャンボム)韓統連大阪本部副代表委員が報告を行った。金副代表は初めに、甲午農民戦争が起こった背景と東学の教義などについて解説した。



▲甲午農民戦争について報告する金昌範副代表委員

次に、農民軍の第1次蜂起の推移を解説しながら、農民軍と政府軍との間で交わされた「全州和約(1896/6)」について触れ、全州和約の締結理由について「外敵(日本・清)侵入の口実を阻止するため」と指摘した。

そして、農民軍による第2次蜂起と政府軍及び日本軍などとの全面对決(1894/11・牛禁峠)での農民軍の敗北とその後の情勢について述べながら、甲午農民戦争の意義と教訓として「民衆の実践が、平等思想を教義とした宗教的契機をさらに超える民衆が時代と社会を作る主体であることを証明し、民衆の歩みを阻んだ日本、それに黙認、協力した列強、真に民衆の社会を建設するために自主独立の政府が不可欠」と語った。

報告後は質疑応答が行われ、最後に金昌五(キム・チャンオ)韓統連大阪本部副代表委員が閉会挨拶を行い、韓統連セミナーは終了した。



## ドキュメンタリー映画「私はチョンソンスラムです」大阪上映会感想文

8月14日(土)、大阪市東成区民センター大ホールで、ドキュメンタリー映画「私はチョンソンスラムです」大阪上映会(主催:同実行委員会)が開催され、在日同胞、日本人500名が参加しました。チヤジュ9月号では、上映会に参加された方からの感想文を掲載します。

**在日朝鮮人は差別などに負けず、  
誇りをもって生きている  
金和容(キム・ファヨン)**

去年と今年で2回「私はチョンソンスラムです」というドキュメンタリー映画を見ました。

在日朝鮮人の方々の生活模様やインタビューが見れて、私が所属している在日韓国青年同盟(韓青)のメンバーも出ていました。

一番衝撃で怖かったのが、ごくごく一般の日本人が朝鮮人に対してヘイトスピーチをし、中にはベビーカーを押しながらヘイトスピーチに参加しているお母さんもいたことです。また朝鮮学校を襲撃していた右翼もとんでもなかったです。自分たちの民族性を育むために朝鮮学校に通っているのに、右翼たちのヘイトスピーチや日本政府のあからさまな差別で子どもたちが苦境に立たされていて胸が苦しくなりました。

そして、韓国に留学していた在日朝鮮人がスパイにでっち上げられ捕まり、10年以上の獄中生活を送っていたのも衝撃でした。日本社会で差別され、そして祖国でスパイ容疑として逮捕され、絶望的だったことがインタビューを聞いて分かりました。

日本の植民地支配や日本帝国主義のせいで、朝鮮半島や在日朝鮮人に対する差別が現在も続いています。日本人の中には、このことを知らずに差別をしたり、ヘイトスピーチをする人たちがいて私は怒りや悲しみを常に感じていました。

それでも在日朝鮮人は差別やヘイトに負けず誇りを持って生きています。朝鮮半島の統一に向けて活動している人、朝鮮学校無償化を実現できるように活動している人、自分たちの民族性に誇りを持って生きている人たちがいます。朴槿恵退陣のデモの様子が映画にも出ていました。この時は韓青、韓統連や他の団体も参加していましたが、私は参加できませんでした。あの時、参加できな

かったことを映画を見て後悔しました。

この映画は朝鮮半島の人々や在日朝鮮人、そして日本人にもぜひ見てほしいです。

**統一への情熱と思い**

**「私はチョンソンスラムです」を観ました  
森本忠紀**

これは映像表現による詩だ。金剛山で催された全民族集会。キム・チョルミンさんと在日青年たちとの出会い。そのときキム・チョルミンさんが得た感銘、感動がすべての始まりだった。以来、カメラを担いで日本へ渡り、十数年、在日の人たちを追いかける旅が続いた。

在特会による京都朝鮮学校襲撃、ヘイト攻撃が与えた痛み、傷がどんなものだったかを語る女性。発達障害の幼かったリュンセ少年が朝鮮高級学校の高校生となって、みんなと一緒に元気な姿を見せる運動会。在日一世ソ・マンズさんの存在感の大きいこと。お父さんを初めて見た時、外見があまりにも良くなかったので認めたくなかったという辛く哀しい思い出話を「お前はアホか」と言われたと笑って語られる。

日本の責任が問われる、日本の問題そのものである高校無償化問題。それに対して日本人、在日の人たちが共に闘う火曜日行動。スパイ捏造事件で死刑宣告を受け、生きて生還された李哲(イ・チョル)さん、康宗憲(カン・ジョンホ)さんお二人のお話。最も強い人とは、最も優しい人なんだと教わる。驚きと感動の超ドラマチックなドラマが何と盛りだくさんのことだろう。

日本では近現代史を教わっていないとよく言われるが、歴史は人に教わって知るものではない。自ら経験し、実践して刻むものだ。金昌五(キム・チャウ)さんが訴える。「南北分断による最も大きな被害者は在日同胞であり、統一によって最も大きな恩恵を受けるのが在日同胞である」。この映画のテーマ、思想であり、それはそのまま我々が、日本の、アジアの近現代史を自ら担う課題だ。



## 【投稿】

## 76年目の8・15に思う

金隆司(キム・ユンサ)

## ◆「光復節」の意味するもの

1945年8月15日、日本はアジア・太平洋戦争に敗れ、朝鮮は日本の植民地支配から解放された。

8月15日は韓国では「光復節」である。光が蘇った日、「光復節」は、日本の植民地時代の朝鮮は、光がなかった闇の時代だったということの意味する。日本では安倍政権登場以降、歴史修正(歪曲)主義が拡散し、過去の植民地支配を正当化する声が高まっているが、「光復節」の意味を理解できる人なら「植民地時代に日本はいいことをしてやった」等の発言はできないだろう。

ちなみに、カイロ宣言にも「朝鮮人民の奴隷状態に留意し」という文言が明記されている。日本の植民地支配がいかに非人道的で残酷なものであったという事は、世界(歴史)が認める事実なのである。

世の中には決して忘れてはいけないこと、そして知らなかったでは済まされないことがある。

歴史の事実として知っていなければならない事実を、あたかもなかったかのように思い込んだり、偽造された「事実」をそのまま事実としてももの言ったりしては、対話はなりたない。

## ◆過去清算

植民地から解放された国は、本来なら独立国になるべきなのだが、解放から3年後の1948年、朝鮮はまさかの分断国家となってしまった。しかもこの3年の間、米軍に占領された南では、新しい国の指導者となるべき独立運動の多くの指導者が殺され、反対に処罰されるべき日本に積極的に協力した「親日派」が新しい政府の指導者となった。

分断とアメリカによる「親日派」の復活。韓国の現代史は、この2つの矛盾を克服するための民

衆の闘いの歴史であった。民主主義と統一を求める闘いは、韓国の過去清算の闘いでもあると言えよう。

ちなみにフランスは、第2次大戦中に4年間ナチス・ドイツに占領されたが、ナチス崩壊後に樹立した新政府は、レジスタンス(抵抗運動)を弾圧したナチス協力者を1000人も処刑している。さすがにフランス革命で国王を処刑した国だけあって過去清算も徹底している。



▲植民地支配から解放され、万歳する朝鮮民衆

## ◆韓日関係

「従軍慰安婦問題」と「徴用工問題」を契機に韓日関係が悪化している。日本政府は、「韓日条約で解決した問題を韓国政府・文在寅政権が蒸し返している」と決めつけ、マスコミも「韓国は約束を守らない国」だと世論を煽り政府に同調している。

今年の終戦(敗戦)記念日の菅首相の式辞に過去の侵略戦争と植民地支配に対する反省の言葉はなかった。1994年の村山富市首相以来、アジア諸国への加害責任に対する「反省」が入っていたが、2013年の安倍首相から言及がなくなり、菅首相はそれを踏襲した。

被害者の側の立場にたてば、相手が反省していないのなら、またやるかもしれないという不安を覚えるのは当然だ。本当に反省している人は「何回謝れば気がすむのか」というような発言はしない。善行があったとしてもそれを口に出す資格があるのは、被害者側であり、それには現在の信頼がかかせない。これは常識の話である。

相手の立場を理解しようとせず、手前勝手な主張に終始するのは大人のやることではない。

韓日関係の改善のためにも、国際的に孤立しないためにも、日本は、過去の歴史の事実の前に謙虚にならなければならない。

## 【コラム】

## 韓国と中国の「三国時代」

韓国と中国はそれぞれに「三国時代」がある。ともに古代乱世の歴史であり、三国が相争った戦争の時代である。

これらの時代の史料として韓国なら『三国史記』、中国では『三国志』という史書が挙げられる。また、これらをモチーフにした文芸作品は多く作られてきた。

ここで一言述べておくべきことは、韓国と中国の三国時代は別のものであるということだ。中国の『三国志』があまりに有名であるために、韓国の三国時代も同時代のように取り違えてしまう方が稀にいる。

中国の三国時代は2世紀末から約100年間、後漢が滅び魏・呉・蜀の三国が中国大陸を三分して争った時代を指す。魏・呉・蜀は、それぞれ洛陽（河南省洛陽市）・建業（江蘇省南京市）・成都（四川省成都市）を首都に定めて中原に覇を競った。その期間は漢末の黄巾の乱が起こった

西暦184年を争乱の始まりとして、呉が滅んだ280年を終わりとするならば、計96年の歴史となる。曹操、劉備、孫権といった群雄の魅力と、漢という巨大帝国が滅びる無常の世界観。様々なドラマが小説や講談などで創作され、人々に大きなロマンを与えてきた。

一方、韓国の三国時代は紀元前1世紀から668年の高句麗滅亡に至るまで、名目上は700年以上の長期間になる。その間、高句麗・百済・新羅の三国が朝鮮半島に鼎立し、やがて唐と結託した新羅が百済と高句麗を滅ぼすまでになる。

韓国の三国時代を記した史書『三国史記』を見

れば、新羅の始祖である朴赫居世居西干の即位が紀元前57年とある。朱蒙による高句麗建国は紀元前37年、朱蒙の子とされる温祚の百済建国は紀元前18年だ。しかし、これらは建国神話に過ぎない。その背景となった歴史は存在したと考えられるが、百済と新羅が一つの国家として成り立ったのはもっと遅れてのことだろう。

紀元前1世紀頃、鴨緑江中流域から興った高句麗は、勢力を拡大して東海岸へと進出し、やがて

現在の中国遼寧省から朝鮮半島北部の地域を領土とした。この過程で高句麗は中国の漢と衝突し、漢の設置した郡県や、遼東地方を拠点とした氏族勢力と争いながら、徐々に領土を上げていった。もし韓国の三国時代と中国の三国時代の接点を見出すならば、高句麗が漢の支配から脱却して、魏や晋と戦いながら勢力を拡大していったこの時代にあたるだろう。

4世紀に入ってから高句麗

と、南方で成長してきた百済や新羅との戦いが始まり、ようやく三国時代の争乱は本格化していく。儒教と仏教の伝来を経て三国とも国家体制を整備していく中、高句麗は広開土王と長寿王のもとで全盛期を迎えることになる。

その後、高句麗の平壤遷都、百済の首都漢城（ソウル）失陥と奪回、新羅の漢城占領と伽耶諸国併合と、時代は劇的な展開を見せる。やがて隋・唐や倭国を巻き込み、東アジア全体に影響を及ぼす戦争になっていくのが7世紀のことだ。

（好）



▲慶州で発掘された三国時代新羅の金冠





## 【DVD紹介】

## 権力に告ぐ

久々のDVD紹介です。最近ではネットフリックスやユーネクストなど、インターネット環境があれば映画やドラマが観られるようになり便利になりましたが、今回紹介する映画はレンタルショップで借りた映画なので、ネット環境がない方でもレンタルショップに行けば観れますので安心してください。

映画のタイトルは「権力に告ぐ」。この映画は2003年、米国のファンド会社ローンスターが韓国外換銀行を安値で買収し、その後、2012年にハナ銀行に再売却した際に多額の利益を得たという、韓国で当時大きな話題となった金融事件をもとに作られています。

主人公のソウル中央地検ヤン検事は、担当した事件の女性被疑者が、ヤン検事にセクハラをされたという遺書を残して自殺したことで、周りから「セクハラ検事」と批判を受けます。ヤン検事は「セクハラは濡れ衣だ」と主張、自ら捜査を行う



中で女性被疑者が大韓銀行売却事件にかかわる人物であることが分かります。

ヤン検事は継続して捜査を進めますが、大検察庁や政界の重鎮などから圧力を受け、捜査は進展しません。そんな中、ヤン検事はファンド会社の法定代理人であるキム・ナリという女性弁護士と出会い、二人で事件の真相に迫っていくという内容です。

物語の途中、大韓銀行売却の真相を取材して結局、圧力を受けて放送を中止した番組「取材手帳」という番組が出てきますが、私は

勝手に「これはPD手帳という実在する番組のことかな?」と思いました。金融事件がテーマなので、経済用語がたくさん出てきますが、この映画を制作したチョン・ジョン監督が「おもしろく、わかりやすく、観客と共有すること」を考慮しながら作った映画だそうで、けっこう楽しめます。ぜひご覧ください。(ソン)

## ◆◆行事案内◆◆

## 日朝国交正常化の早期実現を求める大阪集会

日時：9月17日(金) 午後6時 開場  
午後6時30分 開会

場所：エルおおさか708号室

(京阪・地下鉄天満橋駅下車徒歩7分)

内容：講演「日朝関係の展望について」

講師：崔権一

朝鮮総連大阪府本部宣伝文化部長

資料代：1000円

主催：日朝市民連帯・大阪 TEL:06-6853-5549

## 韓統連セミナー2021 ウリ近代史最終回

## 圧政に抗拒する民衆

～3・1独立運動を中心に～

日時：9月26日(日) 午後1時30分 受付  
午後2時 開会

場所：東成区民センター6階 集会室601

(地下鉄今里駅2番出口から徒歩3分)

報告者：金昌範 韓統連大阪本部副代表委員

参加費：500円(青年学生300円)

主催：韓統連大阪本部 TEL:090-3822-5723(崔)

## 編集後記

韓米合同軍事演習が終了しました。今後、南北離散家族の再会事業が年内にも行われることを期待します。離散家族は高齢者が多いです。皆さん注目しましょう。(ソン)

